

ジェンダー平等のためのフレンズ・グループ立ち上げ会合における
宇都外務副大臣メッセージ

御参加の皆様、おはようございます。日本国外務副大臣の宇都隆史です。本日は、ジェンダー平等のためのフレンズ・グループ立ち上げを記念する会合に日本政府を代表して参加できますことを大変嬉しく思います。

何よりもまず、一昨日から本日まで「平等を目指す全ての世代のためのフォーラム（Generation Equality Forum）」閣僚級会合がメキシコ・シティにてオンラインを駆使して成功裏に開催されましたことにつき、ご尽力されたメキシコ政府に対して、心からの祝意と敬意を表したいと思います。

新型コロナウイルスは、女性・女兒を含む社会的・経済的に脆弱な者が抱える課題を一層浮き彫りにしました。とりわけ、パンデミック以前から課題となっていたジェンダー間の格差が一層顕著に露呈し、コロナの状況下において更に拡大しているのではないかと懸念されています。

他方で、私たち人間は、考え方と行動次第で危機を好機に変えることができます。例えば、コロナ禍からの回復の中心に女性・女兒を据えることで、さらに良い社会を生み出すべく協働することができます。

そうした中で、ジェンダー平等の重要性を国際社会の中で連携して発信し、女性の声があらゆる分野でしっかり反映される社会を築いていこうとする有志国が一丸となって目標に向かっていく。そのためのグループの発足を提唱したメキシコ政府に感謝します。世界が共通の課題を抱えている今こそ、皆で共に知恵を出し合って乗り越えていくことが強く求められています。

「平等を目指す全ての世代のためのフォーラム」は、世代を問わず、男女を問わず、誰もが関心を持つものとして、ジェンダー平等を推進していくという運動です。この活動を通じて、ジェンダー平等が、いつの時代においても、私たちの日常において、ごく当たり前のものとなっていくことを願っています。

それに向けて、日本政府は、「平等を目指す全ての世代のためのフォーラム」の行動連合を構成する「ジェンダーに基づく暴力」部門の活動を積極的に行っていくため、メンバーとして参画することを決定いたしました。今後、コロナ禍において増加傾向にあるジェンダーに基づく暴力等を撲滅するため、志を同じくする参加国の皆様としっかり連携して、ポスト・コロナ時代のより良い社会を共に作っていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

（了）